



日本共産党

前市会議員

とがし豊

発行・日本共産党京都左京地区委員会 事務所 ☎761-6341 自宅 ☎771-7847 ホームページ・ブログ⇒「とがし豊」で検索

安保法制＝戦争法案は廃案に！

平和への決意新たにした夏。左京では現在6283筆！

子どもたちを守りたい

戦後七〇年のこの八月。ア

ニメ「火垂るの墓」の再放送があり、録画して子どもが寝静まってから見ることにしました。主人公の少年の「私は昭和20年9月◎日に死にました」という語りで始まり、駅構内で餓死寸前の主人公が映し出され、「節子・・・」とつぶやきをもらしながら、次第に死んでいく。この冒頭シーンを見ただけでテレビを消してしまいました。この兄妹の物語とわが子達とが重なり、身を引き裂かれるような思いにかられたからです。生きたくても生きられなかった子どもたち。日本でもこんな被害をうけたのだから、日本の侵略と苛烈な植民地支配の被害をうけた人々、特に子どもたちはどんな状況だった

だろうか。そんなところまで想像は広がり、平和憲法の重みが心に迫ってきました。

ところが安倍首相の談話はひどいものでした。「平和」を騙りながら『日米同盟』を「完全」に機能させると宣言した結論部分には恐ろしいものを感じました。毎週欠かさず参加している戦争法案反対の水曜アピール行動。廃案まで毎週水曜日・六時百万遍集合です。ぜひ一緒に廃案まで頑張りましょう。



8/9 戦争展で沖縄基地問題の企画にスタッフとし参加した私。

下鴨神社マンション問題

新たなまち壊しの序章

今、京都のまちが、新たなまち壊しにさらされています。京都御苑横の梨木神社でのマンション建設に続き、世界遺産・下鴨神社にもマンション建設が計画されています。世界遺産・下鴨神社を守るために指定されたバッファゾーン(緩衝地帯)の区域の中でも特に豊かな森の再生が進んだ地域が今回の予定地です。下鴨神社は、式年遷宮にお金がかかるからやむを得ないとはいいますが、本当に別の道はないのか。世界遺産の維持に課題があるなら、下鴨神社はもっと情報を公開し共に課題を解決しようという立場にたっていたかなければなりません。計画撤

京都市政の焦点①

回をもとめる署名・五千百筆が下鴨神社に渡されましたが、しっかりと受けとめていただきたい。

この問題で一番ひどいのは、一年も前から下鴨神社から相談を受けながらも、全く何の手立ても打たず、粛々と手続きを進めようとしている市長の姿勢です。「京の億ションモテモテ」「希少性とブランド力 首都圏の富裕層が購入」「開発業者、用地確保に躍起」(33 京都)と言われる中、ここでくい止めなければ、世界遺産全体がさらなる危険にさらされかねません。都合の良いときだけ世界遺産を持って囃しながら、守るためにはお金も力も尽くさぬ市政は抜本的な転換が必要です。



研修道場の外壁の解体が進む 8/18

いつでも住民と二人三脚で



三錦学区・銀閣寺町で2年前から問題になっている大雨時の下水逆流で、党後援会の皆さんと一緒に、京都市上下水道局と交渉する私(写真奥左端)。

連載・がんばる消防団

今年の8月16日の送り火も、消防団員として参加。右の払い(南の流れ)の上から18基目あたりのところで飛び火の警戒にあたりました。左京南部の分団のみならず、遠くは岩倉・上高野・修学院方面分団からも応援があり、妙法と合わせ、まさに左京消防団あげての取り組みとなっています。

<写真・大文字を登る団員の皆さんと私>

